

一緒に都市復興のあり方を考えていきませんか

第3回 事前復興まちづくりミーティング

令和8年8月1日（土）

グループワーク説明資料



今日みなさんと考えたいこと

復興には様々な立場や思いがあります。
その違いや難しさに触れながら、
みんなで目指したい復興後のまちの姿や、
自分たちでもできる事前復興について
考えてみましょう。

グループワークの流れ

15分

ワーク1

復興ロールプレイング
YES・NOゲーム

与えられた役割(ロール)を
基に、被災後、復興が進む
につれて求められる判断に
対して「YES・NO」の2択
で回答しましょう。

20分

ワーク2

都市復興の目標を
自分ごととして考えよう

区で提示した都市復興の
目標に対して、気付いたこと、
感じたことはありますか？
また、各班ごとに用意され
たテーマについて、自分なり
の考えや気づきを整理しま
しょう。

10分

ワーク3

今日からできる
事前復興を考えよう

事前復興の一環として、個
人・地域でできることを、
できるだけたくさん見つけて
持ち帰り、周りの人たちとも
共有しましょう。

グループワークについて

【3つの約束】

- ① 違いを楽しみ、受け入れよう
- ② 沈黙も大切に
- ③ 自分の周りにいる人たちの顔を思い浮かべてみよう

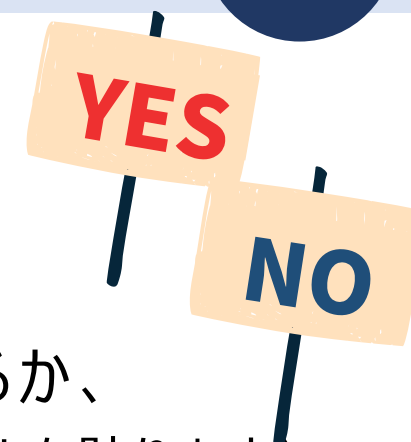
グループワークについて【ワーク 1】

復興ロールプレイング YES・NOゲーム（計2問）

計
15分

提示された役割（ロール）と状況を基に、被災後、復興が進むにつれて求められる判断に対して「YES・NO」の2択で回答します。

ご自分の立場ではなく、もし、この役割（ロール）の立場ならどうするか、直感で札をあげてください。（記録のため、グループファシリが人数分のシールを貼ります）



お願い・ルール

グループファシリから声をかけられた方は、**選択の理由**について付箋に記入して、**グループの仲間に簡単に説明**をしてください。

グループワークについて【ワーク 1】

復興ロールプレイング YES・NOゲーム（計2問）

計
15分

各班によって、2問目の質問内容が異なります。

1問目

2問目

第1問)
地域復興協議会
の役員を引き受
けますか？

p.7

A・B・C 班

p.9へ

D・E 班

p.11へ

第2問_ABC班)
児童公園を仮設住宅用地として
活用することに賛成しますか？

第2問_DE班)
復興祈念盆踊り大会を開催する
ことに賛成しますか？

グループワークについて【ワーク 1】

第1問) 地域復興協議会の役員を引き受けますか？

▶ 役割（ロール）

あなたは**43歳**、配偶者と子ども2人の**4人家族**で、被災前は**分譲マンション**に住んでいました。震災前は地域の防災活動に積極的な参加をしていませんでしたが、現在は**在宅避難**をしながら、**震災救援所運営スタッフ**として活動しています。

▶ 状況

大震災発生から**2週間**が経ちました。

震災救援所の運営は少し落ち着いてきましたが、**避難生活はまだ続いています**。

あなたの地域は大きな被害を受けており、**区役所から「くらし・すまい・まち」の復興について話し合う「地域復興協議会」を立ち上げたいので、役員として協力してほしいと依頼されました**。これまで地域のために震災救援所運営へ積極的に協力してきました。しかし一方で、これからは自宅や家族の生活再建にも取り組まなければなりません。

地域復興協議会：

被災地域の住民や事業者等が主体的に参画し、
地域力を生かして復興に取り組む核となる組織

グループワークについて【ワーク 1】

第1問) 地域復興協議会の役員を引き受けますか？

地域復興協議会：
被災地域の住民や事業者等が主体的に参画し、地域力を生かして復興に取り組む核となる組織

▶ 質問

あなたは、家族の生活再建と並走して、「**地域復興協議会**」の役員として**地域の復興に向けた活動に参加しますか？**

YES : 地域のために役員として参加する

NO : 家族の生活再建に注力するため、役員には参加しない

▶ 判断のポイント

自身の生活再建をしながら、地域への貢献にどの程度力を入れるか
自分の時間や体力に余裕があるか
復興活動に自分が果たせる役割はあるか
家族の理解や協力を得られるか



グループワークについて【ワーク 1】

ABC
班

第2問_ABC班) 児童公園を応急仮設住宅用地として活用することに賛成しますか？

▶役割（ロール）

あなたは、地域の公園や緑化活動に取り組むボランティア団体の中心メンバーです。

▶状況

大震災発生から**1か月**が経ちました。

あなたたちは、震災後も自宅の庭の手入れや、がれきの残る場所に花を植える活動を通じて、地域に少しでも希望や潤いを取り戻そうと取り組んできました。

そんな中、**区役所から、「応急仮設住宅の建設用地が不足しています。現在ボランティア団体の皆さんが管理している小さな区立公園を、仮設住宅用地として活用したいと考えています。公園としての原状復旧は約5年後を予定しています。」と相談がありました。**

一方で、団体の中には「被災した人の住まい確保は大切だが、こんな時だからこそみどりや花が人々の心を支える。活動の意義を区や地域にもっと伝えるべきだ。」という意見もあります。

グループワークについて【ワーク 1】

ABC
班

第2問_ABC班) 児童公園を応急仮設住宅用地として活用することに賛成しますか？

▶ 質問

あなたは、**担当している公園**を応急仮設住宅用地として活用することに賛成しますか？

YES : 被災者の住まい確保を優先し、公園の活用に賛成する

NO : 公園や緑地の役割を重視し、公園の活用に賛成しない

▶ 判断のポイント

被災者の住まい確保と公園・緑地保全のどちらを優先するか
公園や緑地が地域に果たしている役割
仮設住宅の必要性和代替用地の有無
「復興」とは何を意味するのか



グループワークについて【ワーク 1】

DE
班

第2問_DE班) 復興祈念盆踊り大会を開催することに賛成しますか？

▶役割（ロール）

あなたは、A地区に設立された「地域復興協議会」の役員です。

地域復興協議会：
被災地域の住民や事業者等が主体的に参画し、地域力を生かして復興に取り組む核となる組織

▶状況

大震災発生から3か月が経ちました。

毎年地域で開催している盆踊りについて、若い子育て世代を中心に、「こんな時だからこそ、地域の人たちが集まり、前を向くきっかけをつくりたい。規模を縮小してでも開催しよう」という提案が出されています。

一方で、「まだ避難生活を続けている人や、地域を離れて暮らしている人も多い。お祭りを開催するには時期尚早ではないか」という意見もあります。

地域復興協議会では、復興祈念盆踊り大会を「地域復興のシンボル」として開催するかどうかを話し合うことになりました。

グループワークについて【ワーク 1】

DE
班

第2問_DE班) 復興祈念盆踊り大会を開催することに賛成しますか？

▶ 質問

あなたは、**地域復興のシンボル**として「復興祈念盆踊り大会」を開催することに賛成しますか？

YES : 地域のつながりや復興への希望を生み出すため、開催に賛成する

NO : 被災者の状況を考え、開催はまだ早いと考え賛成しない

▶ 判断のポイント

復興に向け地域住民が集まる機会をつくる意義

避難生活や疎開生活を続ける方々への配慮

「日常を取り戻すこと」と「被災者への配慮」のバランス

復興のシンボルとしての効果

地域全体の合意形成



グループワークについて【ワーク 2】

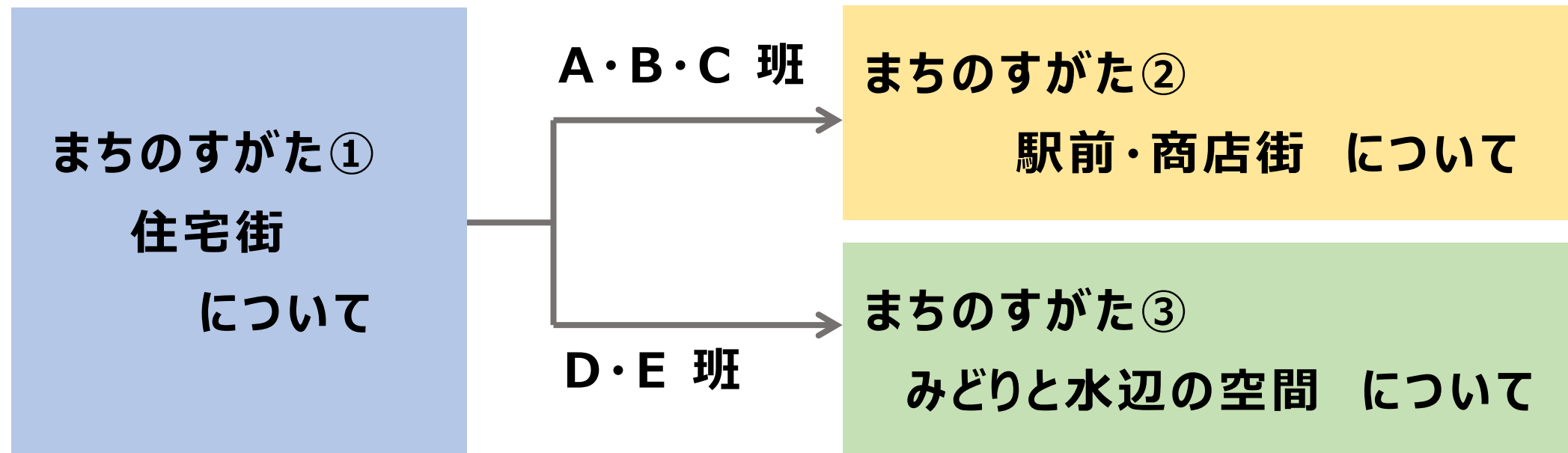
都市復興の目標を自分ごととして考えよう

計
20分

各班によって質問内容が異なります。

Step 1 はじめの10分

Step 2 のこりの10分



グループワークについて【ワーク 2】

Step 1 まちのすがた①について（付箋で回答）

10分

まちのすがた①の
「都市復興の目標」は、
【資料2】これまでの検討
内容のまとめ【p.12】にも
掲載しています

テーブル上のワークシートをご覧ください。
まずは10分で、ワーク2上段横並びの2枠に付箋を貼ります。
左の枠・右の枠、どちらから考えても大丈夫です。
思いついた方から、付箋を記入して貼り付けてください。

ワーク2 都市復興の目標を自分ごととして考えよう

まちの
すがた
① 住宅街

被災後、まちのつながり、誰もが住み続けたいと思えるまち

- 1. 暮らしを守れるまち
- 2. 元々の暮らしのもと、落ち着いた暮らしが続くまち
- 3. 開かれた地域コミュニティで顔の見える関係性のあるまち
- 4. 人生のどの段階でも、住み慣れた地域で暮らし続けたいと思えるまち
- 5. 歴史と地域性を次の世代にも引き継ぎたい、愛着のあるまち
- 6. 誰もが将来の住まいの再建を見通せるまち
- 7. 被災後も地域とのつながりを維持し、円滑に暮らしの再建・再定着が可能なまち

【A班への問い】被災後、「この地域に住み続けたいけれど、それができない」と感じるのはどのような時ですか？



グループワークについて【ワーク 2】

Step 1 まちのすがた①について（付箋で回答）

10分

ワーク2 都市復興の目標を自分ごととして考えよう

まちのすがた① 住宅街

まちのすがた・小目標に対して、
気付いたこと、感じたことはありますか？

- ・こんな小目標もあったらいい
- ・ここはこう言い変えたほうがいい など

【A班への問い】被災後、「この地域に住みたいけれど、それができない」と感じるのはどのような時ですか？

各班ごとに用意されたテーマ

について、将来の暮らしや地域のあり方を踏まえて、自分なりの考えや気づきを整理してみましょう。

左の枠・右の枠、どちらから考えても大丈夫です。
思いついた方から、付箋を記入して貼り付けてください。

グループワークについて【ワーク 2】

Step 2 まちのすがた②または③について（付箋で回答）

10分

まちのすがた②／③の
「都市復興の目標」は、
【資料2】これまでの検討
内容のまとめ【pp.13-14】
にも掲載しています

ABC班は まちのすがた② / DE班は まちのすがた③

のこり10分で、ワーク2下段の横並びの2枠に付箋を貼ります。
左の枠・右の枠、どちらから考えても大丈夫です。
思いついた方から、付箋を記入して貼り付けてください。

まちの
すがた
②
駅前・商店街

育み、日常も非常時も暮らしを支える個性ある

となる個性ある駅前・商店街

2. 買い物+αで日常的なにぎわいと交流・滞留を生む、人が主役のまち
3. 広場やオープンスペースを備え、日常から非常時まで人を受け入れる駅前・商店街
4. 多様な都市機能の導入により、持続的ににぎわいと暮らしを支える駅前・商店街

【A班への問い】大規模な被害が生じた駅前・商店街においてまちの復興が進む中でも、「このまちらしさが残っている」と感じるのは、どんな点ですか？

グループワークについて【ワーク 2】

Step 2 まちのすがた②または③について（付箋で回答）

10分

ABC班は まちのすがた② / DE班は まちのすがた③

まちのすがた② 駅前・商店街

まちのすがた・小目標に対して、
気付いたこと、感じたことはありますか？

- ・こんな小目標もあったらいい
- ・ここはこう言い変えたほうがいい など

【A班への問い】大規模な被害が生じた駅前・商店街においてまちの復興が進む中でも、「このまちらしさが残っている」と感じるのは、どんな点ですか？

各班ごとに用意されたテーマ

について、将来の暮らしや地域のあり方を踏まえて、自分なりの考えや気づきを整理してみましょう。

左の枠・右の枠、どちらから考えても大丈夫です。
思いついた方から、付箋を記入して貼り付けてください。

グループワークについて【ワーク 3】

計
10分

私たちが今日からできる事前復興を見つけよう

最後に、事前復興の一環として私たちが今日からできることを考えます。

・自分自身ができること

・自分が地域の一員としてできること

はありますか？

考える上でのヒント

- ・自宅や暮らしを再建することになった時に備えて、何かできることはあるか？
- ・自分は復興の話し合いにどのように関わりたいか？
- ・被災後のまちづくりについて、持っておくべき自分の考えはあるか？

- ・事前に、地域として「共有しておいた方がよい価値観」や「考え方」はあるか？
- ・地域の仲間と、災害後にスムーズに話し合いができるよう、普段からできる関係づくりはあるか？
- ・復興の方向性（例：元に戻す・新しく変える）について、地域で話し合うために必要なことは何か？

全体発表について

1班
3分

発表者について（各班1名）

立候補 または グループファシリから指名

発表する内容

- ・グループワーク2の右側の枠（設問と貼られた付箋）
- ・グループワーク3で貼られた付箋を中心に、話し合った内容を教えてください。

お願い・ルール

- ・各班でワークシートをホワイトボードに掲出してください
- ・各班の発表者は、3分程度で発表してください。
- ・A班から順に、参加者で各班を周りながら発表を聞きます。

参考) ワーク 2 各班の個別設問 設問文

Step 1 まちのすがた①について

Step 2 まちのすがた②または③について

A班	被災後、「この地域に住み続けたいけれど、それができない」と感じるのはどのような時ですか？	大規模な被害が生じた駅前・商店街において、まちの復興が進む中でも「このまちらしさが残っている」と感じるのは、どんな点ですか？
B班	大きな被害を受けた地域が整備されるときに、「もう同じ被害を繰り返さない」と思えるのは、どんなまちの作り方ですか？	復興後の駅前・商店街が、「普段も便利で、いざという時にも頼れる場所」になるには、どんな機能や空間が必要だと思いますか？
C班	日常の暮らしの中で、「落ち着いていて、長く住み続けたい」と思えるまちには、どんな空間や環境が必要だと思いますか？	復興後の駅前・商店街で、「思わず立ち寄りたくなる」「ゆっくり過ごしたくなる」と思えるのは、どんな場所や使われ方ですか？
D班	被災後もこの地域で暮らし続けたいと思えるのは、どんな人との関わりや地域のあり方ですか？	復興事業で整備する公園のデザイン方針について、重視したいと思う点がありますか？（歴史性、みどり、震災を伝承するモニュメントの移築・保存など）
E班	被災者向けの公営住宅の建設について、自分の生活だけでなく、まちや将来の暮らしへの影響も含めて、気になること・不安に思うことはありますか？	みどりと水辺の空間を、「普段も使いたくて、いざという時にも役立つ場所」にするには、どんな使われ方や機能があるといいですか？